

令和2年11月25日(水) JSR四日市工場 危険物屋外タンク貯蔵所にて
「現場での発災を想定した”危険物エリア上空”でのドローン飛行及び通信訓練」を行いました。

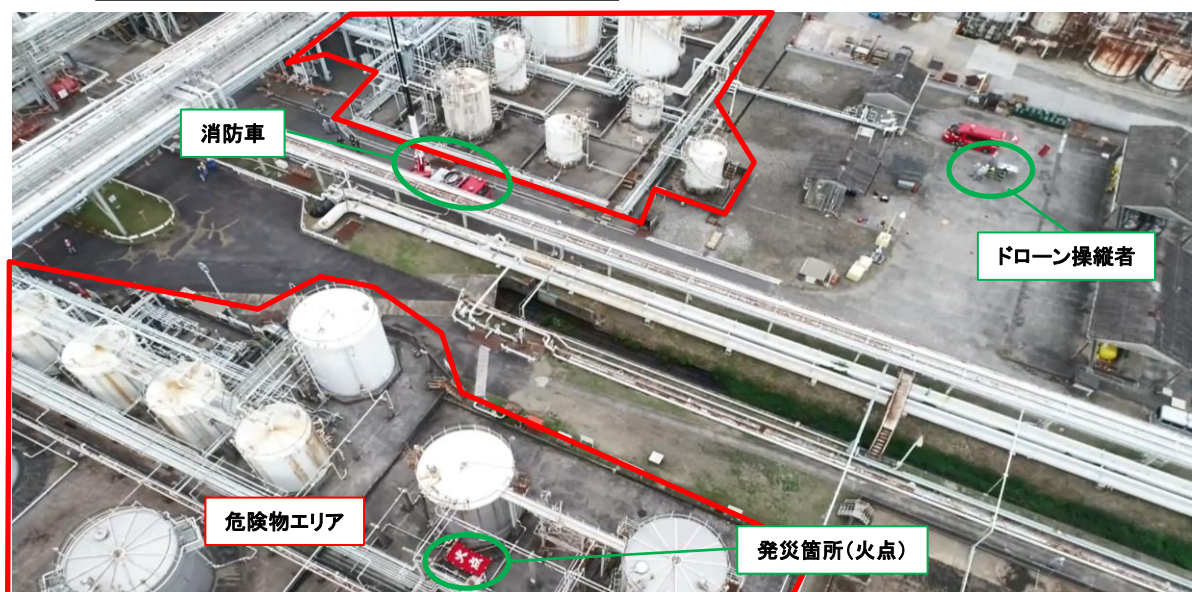
本年度は、四日市工場単独での”危険物エリア上空”飛行を目指し10月より
非危険物エリアで訓練を行ってきました。そして、ついに四日市工場での”危険物エリア上空”飛行を安全に
行うことができました。当日までに国交省の許可承認(YPパイロット2名)、社内の事前安全評価ランクII受審及び
四日市消防本部への飛行計画提出を実施し承認後、飛行を行いました。
また、災害時 現場状況を映像で関係者へ共有し迅速に対応できることを目的に、発災現場の現状を
ドローンで撮影し、リアルタイムで現場指揮所、四日市工場災害対策本部想定 of 工場本館会議室及び
本社対策本部へ映像を送信する通信訓練も問題なくテストできました。

今後は、工場の定期的保安パトロールに、GPSを活用した自動飛行定期運転できるように、関係機関と調整し
ドローン飛行の訓練を重ね保安防災面で活躍できるよう検討を行っていきます。

ドローン飛行



”危険物エリア上空”のドローンからの映像



※この映像がリアルタイムで対策本部等へ共有できました。